

第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成29年11月11日（土） 10時～12時
- 開催場所 布佐近隣センター ふさの風
- 参加者 15名
- 出席者 星野市長、川村総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長、
渡辺環境経済部長、大谷建設部長、渡辺都市部長、他管理職11人

■懇談要旨

市民：街路灯のLED化についてです。上町自治会では、予算の関係で一気に変更できない状態です。補助金の額を上げていただけないかと思います。

上町自治会にある、宮の森公園の電気が12時で切れてしまうことから、真っ暗になってしまいます。出来たら街灯を設置してほしい。

市長の説明のとおり上町自治会も高齢化が進んでいます。防犯パトロールを月2回、民生委員・福祉担当者と訪問したりしています。

しかし、出てこない為会えません。

また、自治会で文化祭を行うのですが、なかなか若い世代に関心持ってもらえない為交流が図れない状況です。今年から地元小中学校、保育園の協力を経て展示をしますが、何か良いアイデアがあれば教えてほしいです。

建設部長：自治会の街路灯につきまして、平成26年度からLED化への補助金を始めまして、現在自治会管理の街路灯は93%がLEDとなりました。今後は、31年度からLED化された自治会管理の街路灯を市で電気料金を支払い、保守を行っていく予定ですが、補助金の増額については、これまでにLED化した自治会との不公平が出ますので出来ません。補助金は継続していきます。

都市部長：宮の森公園の街路灯につきましては、タイマーで公園内の照明を設定しておりますので、後ほど自治会さんと協議したいと思います。

市長：説明したとおりLEDの補助は継続していきます。所有者は、あくまで自治会ですが、保守を市が行います。10年に1回程度だと思いますが、切れたり壊れたりしたときは、市に連絡していただき市で対応していきます。

独居老人の問題は社協や関係者の協力をしてもらいながら対応しているところ

ですが、市全体の課題と考えています。外に出られる方はいいのですが、出られない方が非常に難しいと思っています。いろいろなことをこれからも続けていきます。

市民：せっかくのふれあい懇談会参加者が少ないことはいかがでしょうか。

市長：ふれあい懇談会に参加させていただいて9年になります。直接、市民の声を聴く場として、こういう企画がされて回数も増やしてきました。参加人数に関しては、各地区に課題がそれぞれあります。その課題が、例えば新木駅の改修の時は100人を超える参加者がありましたが、改修後は半分以下の参加でした。それぞれの地区で出ている課題の大きさにより、変わるものと思っています。

市民：布佐地区にも外国の方が多く住んでいます。その方々のゴミの出し方、分別の仕方が理解されていないことから、各ゴミステーションの班長から外国語で書いた案内を配布していただき分かるようにしてほしい。大家さんをお願いしたり、ゴミ出しの際に話したりしていますが、なかなか理解されないのが現状です。調べていただいて、外国の方用のゴミカレンダーの作成をよろしくお願いします。

市長：我孫子市で対応出来ているのは、中国語・韓国語・英語です。市内に多いのは、中国人、ベトナム人、韓国人の順に多いようです。このベトナム人の約300人に対応できていない状況です。布佐にも日本語学校ができました。この2/3はベトナムの方とわかりましたから、これからはこちらの学校に情報提供して協力を依頼したいと思います。

市民：日本語学校の事についてですが、この学校と周辺のトラブルがありまして、先日、オーナーと話をしましたら、我孫子市として外国人を受け入れるという話を初めて聞きました。やまと町では、日本語学校とのトラブルゴミ問題などありますので、早めに協力関係を進めてください。

また、検診について、検診のあり方・趣旨をしっかりと理解して行ってください。

市長：我孫子市として、人口減少しているから積極的に外国人を誘致しているというのは、違います。9年前は1,300人でしたが現在は1,800人です。多くはNECなどの研修生や大学の留学生、そのほか国際結婚された方などが大半です。日本語学校は成田空港と東京に近い東葛地区で近年増えてきています。

これは、国の施策で外国人の介護施設などの就労が、5年に延びたことやその

資格をとるため学校で学ぶことが多くなったと思います。A I R A等の関係団体と情報を得ながら進めていきたいと思います。

がん検診については、75歳から要介護者が増えてきます、60代は、まだまだ元気です。市としては健康寿命を延ばすため、検診も含め積極的に取り組んでいきます。

市民：避難所の件で質問します。布佐地区では、現在布佐小学校が避難所となっていますが、北千葉排水機場を臨時の避難所として使えるようにならないか。先日避難訓練をしたときに布佐3丁目からの避難者は30分かかりました、これが夜間だったらどうなるのかと思います。国交省の方に話をしましたら持ち帰ったの事でした。まだ回答は頂いておりません。市からの働きかけを、よろしく願います。

市民生活部長：避難所については、各所指定させていただいております。布佐南近隣センターは、若干、体の不自由な方が利用可能なように、福祉避難所に指定しています。

布佐小学校は、水害時など高台にあること等で有効な場所です。ご指摘の排水機場につきましては、施設の内容がよくわかっておりませんので、持ち帰りさせていただきます。

建設部長：先日利根川合同点検の際国交省の方も来ていました。排水機場につきましては、市の施設ではない為施設内はよくわかりませんが、本日こういった要望があったことを伝えたいと思います。

市長：建物の中には大きな排水用ポンプが殆ど施設内を占めているため、中に避難は無理ではないかと思います。また、外部も災害時には作業車両が入るなど、危険であり難しいと思います。

災害時には、復興会館や、このふさの風を活用してもらいたいと思います。

市民：子どもの安全のためにですが、ファミリーマートのところの交差点のところの交通量が、アンダーパスの開通によりこれまで以上に増えました。これまでも、この交差点にガードレールの設置を要望してきましたが、交通量が増えましたので、より危険な場所になっているかなと思います。ぜひ、しっかりしたものを設置し、子供達の安全に配慮してください。

建設部長：確かにアンダーパスが開通後は増えました。県管理の交差点ですが、市で現場を確認して県に報告したいと思います。

市長：現場を確認してからと思います。他の場所で第二小学校の入口も356号に面していて、子どもたちを守るために金属ポールを2本立てて、子供たちにはここから出ないように教えて、車はポールから入ってこないような形式にした場所があります。県に話をしてみますが、子供たちの安全を確保するため、場合によっては市で行うことも考えたいと思いますので、少しお時間をください。